

# この街 あの人この人

## バッハの音楽を現代によみがえらせる

### チェンバロ製作家 伊藤福一さん(中高根)



#### 17世紀の貴族が愛した音色

中高根にある住宅街の外れから聞こえる、木を削る音と弦楽器の音色。音の元をたどると、和風建築の建物の脇に「伊藤ハーブシコード工房」がありました。ここで、古楽器のチェンバロを製作しているのが伊藤福一さんです。

チェンバロは、バロック時代(1600～1750年頃)に全盛期を迎え、主にヨーロッパ

パの宮廷音楽で用いられた鍵盤楽器です。  
心に響いたチェンバロ

この楽器に興味を持ったのは、「大学生の時にバロック音楽の代表格であるバッハに魅せられたことが大きかった」と言います。バッハの曲は、チェンバロが主流であった時代に作曲されていたので「ピアノで弾いているうちになんだか違うな」と違和感を感じたそうです。

大学卒業後、一度はサラリーマンとして勤務したものの、自分には向いていないと感じ退社。その時、心の中に芽生えていたのはチェンバロへの思いでした。そして、チェンバロ製作の第一人者と呼ばれる故堀栄蔵氏に師事しました。

楽器製作の世界は、華やかな世界からは程遠く、職人の世界です。特に、チェンバロは温度や湿度に敏感な楽器。見て盗みながら、技術を磨きました。

#### 自宅のアトリエで優雅な調べを

そして、中高根に工房を構えたのはちょう



形の似るピアノとは音の出し方が異なるチェンバロ

ど20年前のこと。今では、伊藤さんが製作したチェンバロは国内外で演奏されています。

また、自宅のアトリエは、「西洋楽器であるチェンバロに日本人の心を取り入れたかったから」と和風にこだわっています。そのアトリエでは年2回、プロの演奏家を招くコンサートを開催し、地域の方や遠くは九州から訪れる人も。次回は11月下旬から12月上旬に開かれる予定です。詳細は、「伊藤ハーブシコード工房」のウェブサイトを確認してください。

チェンバロの音色や工房、アトリエの様子などは市のYoutubeで公開しています。



## 市民特派員 レポート vol.2



宮本 特派員

市内の商業者が中心となって企画した第9回「いちほらコスモスフェスタ」が5月20日に夢ホールで開催されました。

販売だけでなく、占いやお花のリース作り、チョークアートなどの体験コーナーも充実。さまざまなお店が出店し、これまで知らなかったいちほらのお店を知るきっかけになりました。皆さんもぜひ次回は来てみてください。



きっとあなたの「お気に入り」が見つかりますよ。

抽選会では素敵な景品も

問合せ シティプロモーション推進課 ☎ 9821

## 防災コーナー ⑦

### 6月は土砂災害防止月間

土砂災害から身を守るには、早めの立ち退き避難が重要です。

県は、土砂災害によって危害が生じるおそれのある区域を土砂災害警戒区域等として定めています。住んでいる地域が土砂災害警戒区域など危険な箇所に該当しているかどうかは県ウェブサイトにある「ちば情報マップ」で確認できます。



該当する地域に住んでいる人は、避難場所を決めること。そして、避難場所までの経路を事前に確認するなどして、万が一の事態に備えておきましょう。



ちば情報マップ

問合せ 危機管理課 ☎ 9823

# いちほら 歴史物語

## 112 いちはら文化財めぐり

### 新指定の文化財

#### 姉崎山王山古墳出土遺物

#### 古墳時代後期の前方後円墳

姉崎地域には、巨大な古墳が集中しており、これらは姉崎古墳群と呼ばれています。山王山古墳はこのうちの二つで、姉崎神社がある台地の、西側先端部に造られた全長69m、6世紀中ごろの前方後円墳です。昭和38年に造成工事によって消滅しました

が、事前に行った発掘調査で、多くの貴重な遺物が出土しました。

豪華な副葬品

発掘調査では、大刀の柄に精

巧な龍の装飾をあしらった、金銀装単龍環頭大刀(写真右下)、矢を収めた胡禄や、金銅製冠、さらに埋葬された棺の底面から

は、植物を編み込んだ編組製品(敷物)も発見され、全国的に類例の少ない遺物です。

華麗なつくりの環頭大刀

これらの遺物の中でも、金銀装単龍環頭大刀は、朝鮮半島の百済の武寧王陵出土品によく似た優品で、銀装の柄部分には楕円形をした龍の体部を、その中央には炎を吹く龍の頭部を鑄造により表現しています。山王山古墳の龍の表現は、やや簡素化しているため、年代は百済武寧

王陵より新しくなると思われます。鞘は金銅製の飾り板を用いた華麗なつくりとなっています。極めて保存状態が良いため、当時の金工技術を知ることができ

る貴重な資料です。

市指定文化財に

山王山古墳から出土したこれらの遺物は、保存状態が良好で、全国的にも貴重な資料であるため、平成30年5月1日付けで、市指定文化財(考古資料)に指定しました。

問合せ ふるさと文化課 ☎ 9853



竜が炎を吹く環頭 大刀の全体

金銀装単龍環頭大刀